

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102195
法人名	特定非営利活動法人グループホームしいのみ
事業所名	グループホームしいのみ
所在地	松山市緑町一丁目7番地15
自己評価作成日	平成25年8月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・日常的な散歩(一日数回)</p>

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年9月24日

<p>●地区や校区の運動会には毎年参加しておられ、利用者もパン食い競争等に出場して、地域の方達と楽しまれている。秋祭りには、獅子舞や子ども神輿が事業所の前に来てくれ、利用者は毎年楽しみにされている。大正琴のボランティアの方の訪問や、夏休み等には愛媛大学や松山大学の学生の訪問もある。事業所では、地域の方に車いすの無料貸し出しをされており、時々依頼があるようだ。月例会議時に月目標を立てておられ、9月は「地域行事への参加」と決めておられた。管理者は、今秋の「まつやまお城下ウォーク」に、利用者と一緒に参加することを考えておられた。</p> <p>●職員は、内・外部研修に積極的に参加されており、資格取得も順番に挑戦しておられ、事業所でも実技研修を行う等してサポートをされている。系列事業所と一緒に、バーベキュー大会や食事会等を催して職員同士が親睦する機会も多く持たれている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

事業所名 特定非営利活動法人グループホームしいのみ

(ユニット名) グループホームしいのみ

記入者(管理者)

氏名

大西英之

評価完了日

25 年 8月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎月行っている月例会議で職員全員で話し合い、理念を作成した。行団指針も各職員で話し合い、実践につなげている。全職員が理念の意味を理解し、日々利用者と接している。運営推進会議を利用し、地域の方々に現状を知っていただき理解を深めてもらっている。 (外部評価) 管理者は、新人職員には、「ゴソゴソの自由」という事業所理念に沿って、「利用者個々のペースで自由に行動していただくことの大切さ」を説明されている。又、ミーティング時や職員からのケアについての相談時に、理念に立ち戻りながら一緒に話し合うようにされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域行事には利用者と職員で参加している。散歩、買い物等、積極的に利用者や外出し、地域の方々と自然に挨拶を交わしている。 (外部評価) 散歩中、近隣の方から声をかけていただくことも多く、利用者が気ままに出て行かれた時には、知らせてくださったこともある。近くの公園に出かけた際、子ども達の姿を見かけると、利用者の方から声をかけてふれられることもよくある。地区や校区の運動会には毎年参加しておられ、利用者もパン食い競争等に出場して、地域の方々と楽しんでいる。秋祭りには、獅子舞や子ども神輿が事業所の前に来てくれ、利用者は毎年楽しみにされている。大正琴のボランティアの方の訪問や、夏休み等には愛媛大学や松山大学の学生の訪問もある。事業所では、地域の方に車いすの無料貸し出しをされており、時々依頼があるようだ。月例会議時に月目標を立てておられ、9月は「地域行事への参加」と決めておられた。管理者は、今秋の「まつやまお城下ウォーク」に、利用者と一緒に参加することを考えておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で実際にホームであった事例を説明し理解を求めたり、支援方法を話したりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) いろいろな議題を挙げて意見、感想を毎回頂戴している。介護経験のある方から実体験を聞かせていただき、地域密着型サービスとしてのサービス向上につなげている。</p> <p>(外部評価) 会議は、近隣の方、利用者、系列事業所の職員や利用者等が参加されている。会議では、事業所の取り組みや研修の報告、利用者の日常を写真のスライドショーで見させていただき、意見をうかがっておられる。昨年10月の会議は、「利用者と地域の方との交流」をテーマに、集会所をお借りして、系列グループホームと合同で行なわれた。近隣の方に案内して、事業所の車で送迎もされた。事業所では、前回の外部評価を受けて、会議内容をご家族に送付することを始められた。ご家族に会議案内をされるが、ご家族の都合もあり、参加につながり難いようだ。今後も働きかけを工夫して、ご家族や地域のいろいろな立場の方の参加を促していかれてほしい。管理者は「他事業所の会議に参加する機会を作り参考にしたい」と話しておられた。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 何か分からないことがあればいつでも電話等で聞いたりできる関係を築いている。運営推進会議にも参加していただき、外部からの意見をいただいて、それを業務に生かしたりしている。</p> <p>(外部評価) 事業所は、松山市社会福祉協議会が取り組まれている「まつやま徘徊SOS」に登録されており、6月の運営推進会議では、テーマに挙げて、参加者に活動内容を説明された。又、「安心カードみまもり支援事業」についても市社協から「みまもり安心キット」をお借りして紹介された。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 日々の業務を通じて、身体拘束になるかどうかを話し合い、他の対策、考え方を検討しながらケアに取り組んでいる。日常的な言葉掛けや対応などにも職員間で気付きを共有しながらアドバイスし合っている。</p> <p>(外部評価) 職員は、事業所の勉強会等で身体拘束について学んでおられる。管理者は、時に職員の「行動を制限する言葉」等が聞こえると、その場で話し合うようにされている。今夏、毎日、朝早くひとりで行き、目的地まで行かれる利用者がおられたが、事業所では、早出の職員が付き添うことに決め、ご本人の「自由な行動」を見守られた。その後、出かける理由等も踏まえてご家族等とも話し合い、ご本人が納得いく支援につながられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修や日々の業務で虐待の具体的な例を挙げて話し合い、勉強を行っている。利用者の状態を把握し、虐待が見逃されることのないよう努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) まだ学ぶ機会を設けていない。活用できるよう今後学ぶ機会を作りたい。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族とは面会や電話連絡を通じて不安や疑問の解決にすぐ対応できるようにし、十分な理解と納得が得られるよう努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者は日々の生活からご家族からは面会や電話、手紙連絡を通じて、意見や要望をきいている。ご家族へ写真を送ったりしている。 (外部評価) 管理者は、ご家族の来訪時には、ご家族とゆっくり話せるような雰囲気作りを心がけておられ、利用者の様子を報告しながら、ご家族の意見を聞き取るようにされている。又、毎月、利用者個別の写真に職員の手書きのコメントを添えて、送付されている。外出行事には、ご家族もお誘いすることもあったが、ご家族の都合もあって参加にはつながっていないようだ。事業所では、利用者や職員の日々についてブログで紹介しておられ、ご家族から感想をいただくこともあるようだ。	利用者の暮らしをご家族とともに支えていけるよう、ご家族と一緒に勉強したり、活動するような機会作りに取り組み、ひいては、ご家族から具体的な意見や要望を引き出し、さらなるケアサービスの向上につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月例会議や個別面談時などに職員の意見や提案を聞いた り、その場で回答、実行できるものは取り入れるようにして いる。	
			(外部評価) 夏場は、天窗がある居室の日差しが強く、職員のアイディア ですだれを使って日よけをされていた。職員は、内・外部研 修に積極的に参加されており、資格取得も順番に挑戦して おられ、事業所でも実技研修を行う等してサポートをされて いる。系列事業所と一緒に、バーベキュー大会や食事会等 を催して職員同士が親睦する機会も多く持たれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は管理者から日々の勤務状況の報告を受け、ホーム や職員の労働に必要な環境、条件の検討、実行をしてい る。また、会議やレクリエーションを通じて直接会話をもっ ている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機 会の確保や、働きながらトレーニングしていくこ とを進めている	(自己評価) 研修等、開催される情報を収集し、職員全員に研修へ参加 できる環境を作っている。研修参加の為、勤務変更も行っ ている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている	(自己評価) 他ホームで開かれるイベントにも利用者様と積極的に参加 している。代表者が交流を持ち、当ホームの認知度が高い ため、職員が参加した場合に有効的に受け入れてもらえ る。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、本人の安心を確保するための関係づくりに 努めている	(自己評価) ホームに慣れていただき、安心して暮らしていただけるよう ゆっくりと声掛けをし、話していただく言葉に耳を傾けてい る。知り得た情報を職員全員が把握し、信頼関係の向上に 努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族様との会話の中にケアプランの参考になることがたくさんあるので積極的に話を伺うようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 今までの生活歴を把握して、初めての方には特に笑顔で接し、快適な生活が出来るように心掛ける。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ご本人が出来ることと、出来ないことを見極めた上で、出来ることは積極的に声掛けをする。物事を一緒に進めるようにしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の面会は悦ばしいので、次も来ていただけるように積極的に挨拶をしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近所の公園では顔見知りの方が気軽に声を掛けていただいたりしている。昔の友人が電話もしてくれる。 (外部評価) 普段の会話等から馴染みの場所や懐かしい場所を聞き取っておられ、職員は、以前、街中のデパートの近くに住んでおられた利用者として、散歩がてら出かけていき、よく行った場所で写真を撮ったり、よく食べていたうどん店で鍋焼うどんを食べて帰ったりされている。ご自宅が気になる利用者には、職員が付き添って一緒に掃除をして帰ることもある。ご本人はとて安心されるようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者のパーソナルスペースを乱すことの無いよう、利用者同士のコミュニケーションをうまく図れるよう声掛けをする。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) その都度必要に応じて対応している。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人像の絵を描いたり、写真等を撮り、職員が理解しやすいよう努める。 (外部評価) 現在、利用者のご自分の希望や意向を話せる方ばかりのようであり、職員は聞き取った個々の希望等を支援につなげられるよう取り組まれている。	利用者の状態が変化しても個々がその人らしい暮らしを続けられるように、ご本人の情報の蓄積に努められてはどうか。さらに、職員で情報を共有できるような仕組みを工夫されてはどうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族や本人様に生活面や好き嫌いなどをヒヤリングする。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 生活全般に出来ること、好きなことを一緒に家事が出来るよう声掛けする。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 職員全員で話し合い、計画書を作成し、家族様には作成する時に相談、報告、郵送を行い意見を募る。</p> <p>(外部評価) 介護計画の様式は、長期目標を「私の希望は何」と表現し、ご本人の言葉を記しておられ、短期目標は「私はどうなりたいの」と表現する等、利用者主体の計画が立てられるよう事業所独自で工夫されている。介護計画は、月1回モニタリングを行い、3か月ごとに見直しをされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の様子はなるべく細かく日誌に記入する。血圧、体温、排便などパソコンにも残す。記録は毎日スタッフがチェックし、何か変化があれば分かりやすいよう記録する。職員間で情報を共有し、実践したり、話し合ったりして計画見直しに活かす。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 本人様、家族様からの要望がある場合、外出や外泊の対応をする。送迎や車椅子の貸出も行う。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域との交流を密に、各行政機関とも協力を友好に行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に主治医、かかりつけ医の希望をお伺いし、ご本人、ご家族が希望する医療機関を利用している。専門病院受診時には、管理者や各職員が同行し、ご家族様と共に状態を伝え、適切な医療を受け入れられるよう支援している。	
			(外部評価) 24時間体制の協力医療機関から、往診が毎日あり、個々に週1回診てもらっている。専門医の受診は、ご家族が付き添い、ご家族の都合が悪い場合は、職員が同行されている。歯科は、ご本人の状態によって、訪問歯科を利用できるように支援されている。訪問看護ステーションから看護師の訪問が週1回あり、利用者のバイタルチェック等を行ない健康管理をされている。又、職員は利用者の健康状態について相談等されている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 訪問看護の看護師より、ケアの仕方を教わったり質問の出来る関係を築いている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入退院時は、主治医の診療情報提供書により情報交換を行い、管理者がご本人、ご家族の医療と密に連携をとりながら1日も早くホームに戻っていただけるような関係を作っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 24時間医療が必要になった場合は、管理者がご家族と話し合い、ホームで出来ることを説明、ご理解していただけるよう努めている。また、主治医とご家族の話し合いの出来る場を持ち支援している。	
			(外部評価) この1年間に4名の利用者の方の看取りを支援された。ご家族は、毎日面会に来られた。亡くなられた後、管理者は、撮り溜めた写真をスライドショーにしてDVDに収録し、ご家族に贈られた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 職員は研修会に参加し、応急手当や初期対応のやり方など勉強し、研修会後の発表等を行い、職員同士にも対応の仕方を伝えていくようにしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 毎月1回、火災や地震、水害時と設定し避難訓練をするようにしている。避難するという事に慣れていただき、慌てず、騒がず、焦らず避難場所を、少しでも覚えてもらうようにしている。	
			(外部評価) 毎月事業所独自で災害訓練を行っておられる。運営推進会議時、市の担当者から「風水害や地震を想定した避難訓練をしてはどうか」と提案があり、今夏に、消防署の協力を得て、会議参加者と利用者や近所の方も参加して地震を想定した避難訓練を行なわれた。近所の方には、利用者が外に避難した後の見守りをお願いされており、いざという時には、近所に住む元消防隊員の方が駆けつけてくれるようになっている。系列事業所の利用者の方が防空頭巾を人数分縫ってくださり、備えておられる。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者様は年上の方と尊敬の念を持ち、敬語で話すようにしたり、接するように心掛けている。また、個人を尊重する為に、各居室での着替え等に配慮している。	
			(外部評価) 利用者が季節に合わない重ね着をされていると、職員はそれとなく居室に誘導して着替え等のお手伝いをされている。調査訪問時には、洗濯物を取り込まれたり、取り込んだ洗濯物を見て、ご自分の名前を確認しながらたむ利用者の方がおられ、職員は手を出さずに見守っておられた。事業所のブログに載せる写真については、ご家族に許可を得たり、顔をモザイク処理する等しておられる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様とゆっくり話しをしたりして、会話の中から思いや希望を聞き取り、なるべく希望が叶うよう考慮し、自己決定出来るように仕向けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) なるべく、利用者様の希望に沿えるように耳を傾ける。時間をなるべく作り、個々に寄り添ってゆっくり話しを聞くようにしている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 髪をとかしたり、洗顔したりと自分で出来ることは声掛けをし、衣類を整える等、見えないところは手伝いながら整えるようにしている。外出時には化粧もしたりする。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様の好きな食べ物を聞き、順番に作っていくように心掛けている。食材を洗う、切る、皮をむく、後片付け等、出来ることは職員と一緒にするようにしている。	
			(外部評価) 職員が交代で、食材の買い出しや調理を担当して手作りされている。朝食は、利用者の希望もあり、ご飯とパンを1日交代にしておられる。献立は、その日の食材や利用者の希望により変更されることも多いようだ。法人代表者等が釣って来られた魚のお刺身が食卓に上ることもあるようだ。調査訪問日の昼食時には、利用者が「おいしいね」と感想を話されたり、「おいしかった。100歳まで生きれそう」等と会話もはずんでいた。食べきれなかったものを利用者同士で交換されている場面もみられた。テーブルにアルミ製のヤカンを置いておられ、ご自分でお茶を注ぐ方もおられた。食後、隣の方の食器も一緒に重ねてあげて、職員が運びやすいようテーブルの隅に寄せておられる様子もみられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) テーブルの上にお茶を用意しており、いつでも好きな時に飲めるようにしている。夜間帯はペットボトル、水筒にお茶を入れて用意し、各部屋でも水分補給できるようにしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後は口の中に、残りが無いか確認し、うがいや歯ブラシ等個々に応じたケアをしている。また、入れ歯を使用している方にはポリドントを使用している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) オムツや紙パンツは極力使用しない方向で統一している。ポータブルトイレを使用する等個人のレベルに応じてトイレ誘導し、自立やそれに近い状態に戻れるよう支援している。	
			(外部評価) 職員が声かけ等して、ほとんどの利用者がトイレで排泄されている。パットを使用されている方は、ご自分で始末できるように居室に新聞を用意されていた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便記録を毎日チェックし、食物繊維の多い食材にしたり、水分摂取を十分にしている。また、ホーム内で出来る運動や、散歩等、無理のない程度に身体を動かしたりもしている。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴記録をチェックし個々のタイミング、体調に合わせて入浴を実施している。浴槽に入りづらい方も手すりや椅子を利用する等工夫して入浴を支援している。	
			(外部評価) 毎日、お湯を入れて、利用者個々に週2~3回入浴できるように支援されている。「1番風呂」や「ぬるめ」「背中の中は強くこする」等、個々の要望に合わせて入浴できるよう支援されている。時には、入浴剤を入れて楽しむこともあり、一緒に買い物に行かれた際に、利用者と一緒に買うようにされている。仲の良い利用者同士が一緒入ることもあるようだ。建物の構造上、廊下の端が脱衣場になっており、使用時は、ロールスクリーンで仕切るようになっていた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 自由に自室で休まれている時は邪魔をしないようにし、休息が必要な時は、タイミングをみて声掛けし、誘導している。夜間は室内温度に気を付け、季節に合った布団を用意し安眠できるよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 現在服用している薬に関しては管理者が管理している薬の支援や症状の変化の確認を朝夕の申し送りで徹底し、主治医にもこまめに報告し、相談している。また、服薬時には職員間で確認の声掛けも行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 買い物、散歩、ドライブ、料理等、得意な事を理解し、個人の体調や気分、レベルに合わせて1日が楽しく充実するよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 個人のその日の要望、身体状況を把握し、買い物や外食、季節ごとのイベント等に参加し楽しんでいただくよう支援している。服装にも注意し、体調を崩されないような配慮もしている。	
			(外部評価) 事業所の周りや、近くの公園等に日常的に散歩に出かけられる。職員は、利用者を誘い食材や日用品の買い物に行かされている。その日の個々の希望で1対1で買い物に出かけたり、夏にはロープウェイ街のカフェに、かき氷やアイスクリームを食べに行かれる。演劇や他法人のお祭りに招待されて、利用者と一緒に出かけるようなこともある。月1回程は、外出の計画を立てて出かけておられ、季節のお花を見たり、ソーメン流し等、ドライブを兼ねて出かけておられる。今秋は、「河原で芋炊き」を楽しまれるようだ。系列グループホームにも声をかけ、協力し合って外出支援することもあるようだ。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ホーム内では金銭の所持をされている方はいないが、買い物に行った時には職員と相談しながら物を選ぶ楽しみや、支払いをする喜びを味わえるよう支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話を希望される場合にはご家族にとってよい時間を見計らって電話をし、楽しんでいただいている。送る写真と一緒に本人様の希望があれば手紙を書く支援もしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混雑をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 談話室からは近所の方の声や車の音が聞こえたり、風通しが良いので夏場も涼しく過ごすことができる。季節ごとの花を生けたりし、生活感のある居心地の良い環境であるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 住宅密集地にある民家改修型の事業所で、利用者の年代に慣れ親しんだ家庭的な設えがあり、玄関の上がり框の段差や階段にはすべり止めを付けておられる。2階に上がる階段には、昇降機を設置されている。調査訪問日の昼食後は、テレビの前に置かれた一人掛けのソファに座り、テレビを見る方や、ご自分で2階に上がり、居室で休まれる方等、思い思いに過ごされていた。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 談話室には気の合った方とテレビを観ながら会話されたり、職員と料理をしたり、ストレッチをしたりとご本人がしたいこと、居たい場所で寛げるように工夫している。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 部屋の中にはぬいぐるみや写真等思い出の物がある。ご本人の希望の物などは安全に過ごせるものであればご家族とも相談し、設置している。</p> <p>(外部評価) ご自宅から使い慣れたタンスを持ち込まれたり、掃除機を立てかけてある居室がみられた。ベッドの上にお気に入りのぬいぐるみを飾っている方やお化粧用具を揃えている方もみられた。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) したい事、やれる事は見守りをしながらやってもらうことがホームの自立へ向けた取り組みである。トイレや自室の場所も分かるよう表示をしている。</p>	